修旅の実態調査 第2回

全修協と東京私学　全国の私立校対象に

財団法人・全国修学旅行研究協会（山本種一理事長）と東京私立中学高校協会文化部（本宮誠之部長）同・修学旅行研究調査部（担当理事新井福之助委員長）では一昨年につづいて第二回全国私立中学校、高校修学旅行（校外学習も含む）などの実態調査を行う。

対象は中、高の約五百校で、集計結果について、文部省をはじめ国鉄、各修学旅行関係機関へ要請をする予定。アンケートのおもな要項は次の通り。

▽本年度修学旅行の有無（実施しないときはその理由）▽実施した期間▽実施学年、男女別の人数▽おもな旅行先き（全国八地方と海外）▽宿泊地▽利用した交通機関▽費用の概算▽旅行斡旋者▽現地での自主見学▽修学旅行以外の校外学習▽五十五年度の計画▽予定地域▽東北新幹線が開通した場合、東北地区を検討する余地があるか▽近い将来の修学旅行の形態はどうあるべきか▽受け入れ側に対する要望など。

なお回答のしめきりは十一月十日で、ただちに集計作業に入る予定である。

あおぞら号近畿学童共済会

早い事後処置に好感

修学旅行の食中毒　運営協に賛辞あつまる

修学旅行で交通事故や集団食中毒などが発生した場合、その補償について困難な事態を生み、満足な解決までには多くの難関を伴うのが実情。このほど三重県二見が浦で起きた小学生修学旅行の食中毒では同旅行の計画輸送を実施している「あおぞら号」近畿地区運営協議会（芥子芳雄会長＝大阪市立集英小学校長）内の近畿学童共済会が直ちに入院小学生の見舞い、諸費用の補てんなどに遺憾のない活動振りを展開、事故処置に大きな成果をあげ、学校側や父兄から賛辞を浴び、共消会運動に絶大な感謝の意を表している。

【関西支局】大阪と伊勢方面を結ぶ、近鉄の専用電車「あおぞら号」で修学旅行にでかけた東大阪市立石切小学校（村上光彦校長）の六年生百四十人が十月四日に宿泊した二見が浦の旅館で食中毒にかかった。

近畿学童共済会

昭和三十八年四月、同地区運営協議会内に設けられ、輸送計画によって修学旅行を実施する学童や付添の教職員が不測の災害にあった場合、措置を講じるほか、損害の補てんに協力することを目的としている。参加児童および付添い教職員一人につき二円ずつの会費のほか補助金が財源。会長は同協議会長が就任、現在は大阪市立集英小学校長の芥子芳雄氏である。

昭和三十八年十月、三重県二見が浦で起きた小学生修学旅行の食中毒では、同協議会内の近畿学童共済会の事業目的に該当することから直ちに実行に移した。

まず曽田事務主幹は石切小学校に対し会長名による見舞金を贈呈、さらに十九人が入院している二病院を訪問、ねんごろに見舞った。食中毒になった学童たちは翌六日、ほとんど全快退院、大事に至らなかった。

曽田事務主幹は同二十六日、石切小学校六年生父兄会にも出席して経過を説明するとともに「今後旅館の指導に万全を期したい」と述べ、予定外の交通費は全額を共済会で負担するむね報告した。父兄側は「衛生管理を厳重に行い、事故の絶滅を期してほしい」と要望する一方、運営協議会と学童共済会の迅速活発な事後処置に対し感謝の言葉も述べられたが、修学旅行の安全実施のための共済制度が学校や父兄によって深く認識されたことは意義深い。

あおぞら号は近畿地区から伊勢方面への小学校修学旅行の安全輸送のため全修協が資金四億四千万円を銀行の協力によって近鉄に要請、昭和三十七年六月、日本最初の二階建て電車として運行を開始し、年間約九万人、設置いらい既に約百六十万人以上の学童を輸送している。以後、輸送上はもちろん、宿舎、弁当などの事故は皆無であった。なお、あおぞら号の愛称は児童の公募によって決まったもの。東海地区にも同運営協議会がある。

森本調査役に叙勲

教育界への功績で

全修協調査役の森本良雄氏は秋の叙勲で長年にわたる教育界に対する功績により勲五等双光旭日章の栄誉をうけた。

同日夕、この報告を受けたあおぞら号近畿地区運営協議会（芥子芳雄　会長…大阪市立集英小学校長）事務局（全修協大阪事務所内）では直ちに各役員に連絡、翌六日朝には会長の代理として曽田震五事務主幹（全修協大阪事務所長）らが石切小学校に村上校長をはじめPTA会長の小松紀陸氏らを訪ねて丁重に見舞った。また、諸手配を担当する近畿日本ツーリスト上本町営業所からも小西係長らも訪問、見舞いを述べるとともに謝罪に来た旅館側と事後処置について協議を重ねた。

同協議会では同会内に設けられている近畿学童共済会の事業目的に該当することから直ちに実行に移した。

修学旅行と道徳教育

道徳の授業

道徳指導案

一、主題名　自然愛

二、資料名　坂田次雄作「足音」

三、主題設定の理由（省略）

自然と人間との関係について理解を深め、美しいものや崇高な人間の行為にあこがれ、自らそれにつとめようとする心情を養う。

四。指導過程

（一）事前指導＝事前に資料を読んで与えた上で、さらに家庭でもよく読んで、主人公恵子について感想を書いてくることを指導する。

（二）本時の指導、（おもな発問）①資料「足音」のあらすじを確認する②資料を読んで、恵子についてどんな感想をもったか③共通問題意識＝後半、老人の遭難事件を思い出してから恵子の態度は変わったが、遭難事件は恵子に何を与えたのだろうか④空カンをひろわずに、場所をかえて復習に集中しようと思った恵子をどう思うか⑤恵子に空カンをひろわせたものは何なのだろうか⑥老登山家の遭難から恵子は、どんなことを得たのだろうか⑦心に残ったことを書きとめておこう。

五、学習後の生徒の感想

「人間は自然から生命をもらいそして生きる。だからといって、自然に左右されて自然に帰るのはあまりにも生きているものの中の組織がくるっていると思う。人間から見れば、自然はかぎりなく大きい。そして逆に観点を自然とうつすならば、人間とは小さな生物の一部であるのだ。だけれど小さくても大きな組織の中で生きる。

自然との共栄ねがう

⑩……坂　田　次　雄

小さな人間は自然に対して大きな影響をあたえている。むしろ人間が小さいからこそ、より多く、より大きな力を望んでいるのかもしれない。そして母なる自然をつぎつぎに犯してしまっている。自然も人間の命をうばう。不平なくつりあっている。

でも人間を全体で一個の物とし自然も一個の物とする場合はいいけれど、人間はそういうわけにはいかない。なぜならば人間には生物としていろいろな種類の人間がいる。そのごく一部の物のせいで全体を見られると、あまりにも人間という生物がかわいそうだ。そして一部の人間は、母なる自然をいたわり、守って行くだろう。そういう人間も忘れてほしくない」（三年女子Y）

「ぼくはこの〝足音〟というものを話し合ってみて今の自分のあり方というものを考えさせられたと思う。はじめ、この恵子の考え方にしても、電車の中にいた人たちにしても、みんな〝なんで自分が人の物まで始末しなければならないのだ〟という気持ちだと思う。

実際、ぼくもそういう考えだったのは確かだ。しかしこれを読んでぼくの考えは変わった。この老登山家、そしてこれを思い出した恵子のとった行動、それはけっして自分のためではなくやっている。そしてそれを自慢しようともしていない。とてもりっぱだと思う。なかなかできないことだと思う。また、この主人公は、この社会で一つ成長したのだと思う。だから自分もこの老登山家、恵子をまねた、今の自分をもう一度みつめなおしたいと思った」（三年男子T）＝つづく。（千葉県松戸市教委指導主事）

坂田次雄氏

若者・紺青の海・純白の船

貸切専用純客船

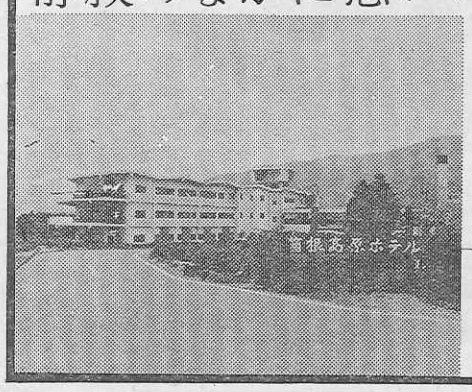
さくら（13,000トン）

ひかり（4,000トン）

• スケジュール・コースはご自由に
• 旅客定員 1,800名
• サロン・休憩室・医務室完備
• 船内でのグループ活動・学習に最適
• 全室エアコン完備
• 一般客との混乗なし

Ⓐ大島運輸株式会社東京支店　東京都中央区日本橋通1－3－11 浅野ビル9F　TEL 03-273-8911

眼下に芦の湖、ひろがる湖尻高原。
静寂のなかに憩いのひととき―。



〈修学旅行の専用旅館〉

〒250-05 神奈川県箱根町湖尻高原

箱根高原ホテル

電話0460－4－8595（代表）

動物に学ぼう。

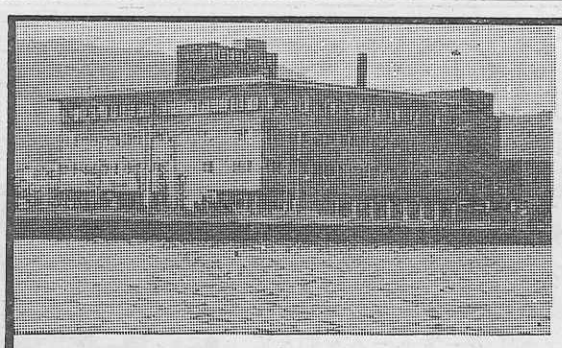
アフリカ村もでっかく開村、
残してください――思い出を。

●営業時間　午前9時～午後5時〈3／16－11／15〉
〈冬期間〉　午前9時30分～午後4時〈11／16～3／15〉
●修学旅行料金　高校生900円、中学生600円、小学生500円

別府・あじむ草原

アフリカンサファリ

〒872 大分県宇佐郡安心院町　TEL(09784)8－2331(代)
東京事務所　台東区池之端1-5-2 UBCビル TEL(03)823-6765



いらっしゃいませ

びわ湖国定公園
近江路の旅へ

収容　600名様
浴場　150名様
設備　全館冷暖房
防災　諸設備完備
駐車場　バス20台

政府登録
国際観光旅館　びわ湖ツーリスト・ホテル

大津市におの浜3丁目2－25　電話　大津(0775)24－2321

旅

「熱烈歓迎」今もなお

再び訪ねた中国

鈴木春之助

全修協では日中の友好を深めるため去る五十年、学校長による第一次訪華団を派遣、それいらい、本年第五次（夏季）まで実施したが、その第一次派遣団に参加、また、本年の第五次では団長として再び訪中した鈴木春之助氏（財団法人・全修協参与、社団法人・東京都教職員互助会参事）は、この五年間に大きく変貌した現実の中国に接して帰国、次のような手記を全修協に寄せられた。近代化の進むなかで日本人への〝熱烈歓迎〟は依然として絶えることなく続き、訪れる日本人の態度も単なる旅行者ではならぬと同氏は強調している。

再度の訪問に感激

北京の宿舎である友誼賓館を出発したバスが、西北に向って走ること一時間ほどで、突兀（とつこつ）とした山々が見えてきます。居庸関をすぎ、八達嶺ゆきの鉄道が見えかくれしてくると、やや白っぽい黄褐色の山肌がせまってきます。

ああ、また長城を訪れることができたなという、ほのかな感激がわきあがってきます。

私は一九七五年の夏、全修協の第一次友好訪華団の一員として訪中し、この夏、全修協の第五次日本教職員友好訪華団に参加し、再び中国を訪れる機会を得ました。

中国はこの四年間に、偉大な指導者であった周総理につづいて毛主席を失い、四人組の追放、四つの現代化の推進、そして日中友好平和条約の締結という、大きくて多様な変化を経験しました。

四年前、北京・西安・洛陽・上海を訪れ、今回は北京・ハルピン・長春を訪れました。

したがって、この四年間における中国の変貌については北京の街しか比較出来ませんでしたが、中国の変わりようは首都の北京に最もよく表現されているように思われます。

交通混雑は一段と

八月六日の午後、三十六度をこえる北京市街に入ってきて、自動車の多くなったことに驚きました。

四年前は、私たちの乗った専用バスには冷房はもちろん、マイクもなかったのが、この夏からはいっていました。外人専用バスは日本製で冷房、マイク付きの快適なバスでした。

市中を走る自転車の多いことは相変わらずなので、都心の交通混雑は一段と激化していました。日本式のきびしい交通ルールに近づくのも遠い将来ではなさそうです。

地下鉄の新線工事と道路建設、また延々と連なる十数階建ての住宅団地の建築が急がれており、古都の様相も徐々に変化しています。

壮大な天安門広場に、天安門に対峙して、毛主席記念堂がそびえている光景は、四年前ときわだった変化でした。

民謡も移り変わり

中国興地の青海省に、「草原情歌」という、草原に羊を追う若人の恋をうたった民謡があります。この歌は日本でも一時期、歌ごえ運動などでよくうたわれたものでした。私はこの歌を大分怪しげな中国語で覚えていましたので、前回訪中した折、中国旅行社の人にこの歌についてききましたら、このような恋歌は今の中国では歌われませんということでした。今回同様の質問をしたところ、今ではラジオでときどき放送されているとか。四人組の全盛期と追放後の変化の一端を感じさせられました。

当時は批林批孔運動が進められ今回は四人組批判をいたるところで耳にしました。街をゆく若い女性のスカートやパーマも、まだ数は少ないが目につきました。

懸命な外貨獲得も

ホテルでの昼食や夕食時に飲むビールも前回は無料で、そのため無回盛大にご馳走になりましたが今回はすべて有料になっていました。そして現代化のための外貨獲得の必要からか、外人とくに日本人向けと思われる土産物販売店に繁く案内されたのには驚きました。

主要都市にある友誼商店（外人専用店）はもとより、土地特有の細工工場を見学し、そこの直売店へ、毛皮専門店、書画骨董店へ、博物館の中にも外人専用の美術工芸品販売処、デパートにも外人専用コーナーがあり、さらには宿舎のホテルでのパーティ券販売までこの方の力の入れようは四年前には想像し得ない変わりようでした。

中国人民の労作になる好みの作品を求め、末長く楽しむことも、日中友好の一助かとも考えました。

中国訪問の心構え

中国側は若干の様変わりがあるにせよ、どこへ行っても私たちを単なる旅行者としてでなく、隣国よりのお客、親しい友人として熱烈歓迎で応待する様子は、四年前と変わりません。

中国を旅するには、日中友好親善の使いとする心構えと、旅行費用を出したから、当然の客という資本主義国における旅行者の態度を厳に慎しむことは必要と考えます。

中国旅行の自由化に伴い、東南アジアや欧米旅行の感覚で中国を旅する日本人により、日・中両国人民の間にあらぬ誤解が生ずることを恐れます。

中国のはるかな歴史を今日に伝え、広大な大地に営々として生活する十億の人々と一衣帯水に位置する私たちとは、それこそ子々孫々に至る友好連帯のため、ますます相互理解を深めなければと、心を新たにした次第です。

今様・奥の細道

③……釼持杜宇

はじめに（3）

決死の旅であったことについては追々に芭蕉の旧跡をたずねつつ元禄と現世を比較する時にふれることにしよう。

まだまだ注目することもあろうが、だいたいこれら三点は少くとも「奥の細道」を読む上に予備知識として持っておく必要があろう。

さて、芭蕉は深川の宿を出た時が四十代、私は五十代。芭蕉は曽良を連れ、私は女房をつれての旅である。もっとも芭蕉はたった二人連れの旅であり、私は全国教職員の夏季特別研修としての「芭蕉奥の細道を訪ねて」の一行として加わった相違がある。ただ、私は俳句する者として生涯一度だけはこの芭蕉旧跡を訪ねたいと思いつづけてきた。はからずもその機会に恵まれたわけである。本当は巡錫の形で一笠一杖の旅でなければ、一歩一歩、足で味わわなければ真の奥の細道はわからないと思う。

私の里に井山宝福禅寺の隠居寺で天福寺というのがある。そこの住持島原泰邦老師の話によると、三重県在の某寺の住職は草鞋（わらじ）がけで奥の細道を三回も巡ったそうである。このようにしなければ意味は半減されるのであろうが、百聞は一見にしかずということもある。机上で読んだ「奥の細道」と現地の旧跡をたずねての味わいはちがう。現にその旧跡を目の前にして本文を思い浮べるとその文章は真実を伝えているか、誇張しているかも判る。

昭和五十四年七月二十六日から同月晦日までの五泊六日の旅であったが、東北の遅い梅雨期にあたり、三日は雨の日の連続であった。大雨洪水注意報の中の旅でもあったが、白河の関から象潟までの行程で、目的地について見学する時だけは降りやんだり、小降りになったりしたので助かった。

前書きが長くなったが、いよいよ次の項から白河の関の前に佇（た）つことにしよう。＝つづく

（岡山県総社市久代二七〇五）

京・北山とところどころ

<1>

祈禱には馬を献じて

しぐれ煙る水神の古社

女人えにしの貴船神社

京都バスで貴船に向う。市原のバス停で下車、道は左、貴船、鞍馬と右、静原に別れる。貴船川に沿った左の狭い街道を行く。茅葺べんがら塗り格子戸のある京風田舎家が見うけられる。この川筋でよく探石するが、山あいの曲りくねった道、片方は杉木立の山際、他方は川、休日はマイカー族が数珠つなぎの往来、探石しながら一度は必ず救急車のサイレンを聞く。

市原から十分ぐらいで貴船口に出る。ここからまた道は二つに分かれ、左は貴船、右は鞍馬。左の道の入口に貴船神社の第一の朱塗りの鳥居をくぐる。道はなおも川沿いに続く。西側北山杉がうっそうと立ち並ぶ。見上げると杉の木立で空がせまく区切られ、陽のさす時間が短い。

時ならず時雨（しぐれ）が来る。少し登り坂になった道を散策しながら溪流と杉木立が目を楽しませてくれる。二、三十分で貴船神社に着く。神社の付近、ひろや料理旅館を始め十数軒両側に軒をつらねている。昔、すぐ傍から引きあげたであろう見事な貴船紫石で石垣を築き散水してある。色鮮やかに目のさめる思いがする。こんな石はもう川にはない。夏にはうっそうたる樹木で川をおおっている下で、川床をしつらえ、床下を清冷な水が流れる中で川魚料理にビールを傾けている風景、まさに涼味一〇〇％だ。

京都名勝誌によると「貴船、木船または木布弥と書けり。創建の歳月詳かならず、祭神たかおかみの神なり…」とある。とにかく樹木生い茂る地の意味であろう。畿内第一の古社（天武天皇白鳳六年必ずこを祈る。しばしば験あり。その祈禱には白馬を奉り、祈雨には黒馬を献ずるを以て例とする…」。夏なお暗く、この清澄な水に対する古代人の濁らぬ信仰心がきもあらんとうなずかれる。

この社は水の神ばかりでなく、民間信仰をもつ社でもある。謡曲の「鉄輪」はその道行文に「…生けるかひなき憂き身の消えん程と思ふ恋いや草深き市原野辺の露分けて、月遅き夜の鞍馬川、橋を過ぐれば程もなく貴船の宮に着きにけり」とあり、貴船の神に丑（うし）の刻（とき）詣りをして鬼の姿となった京女の執念を描いている。また、天婦和合の神、とくに女人に同情を垂れ給う神ともいわれている。恋に身を焼く才女和泉式部は夫の心を引きもどさんとこの社に詣り、「物思へば沢の蛍もわが身よりあくがれ出づる玉かとぞ見る」「千早振る神の見る目もはずかしや、身を思ふとて身をやつすべき」と歌い彼女の優にやさしき心根に感じ、夫の心をとりもどしたといわれる。もっとも伝説ではあろうが。昔から俳人も多く訪れている。

薫風やせせらぎ沿いに貴船道（王城）

卯の花や貴船弥の神女の練の袖（蕪村）

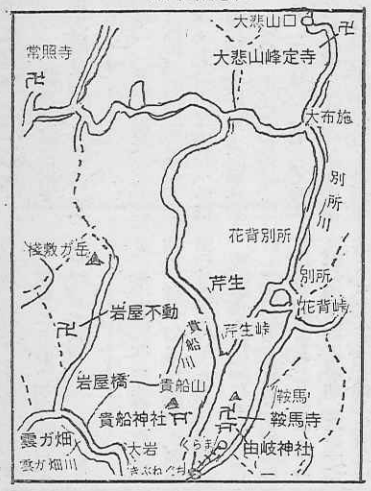
男さへ凄き宮居や木下闇（蝶夢）

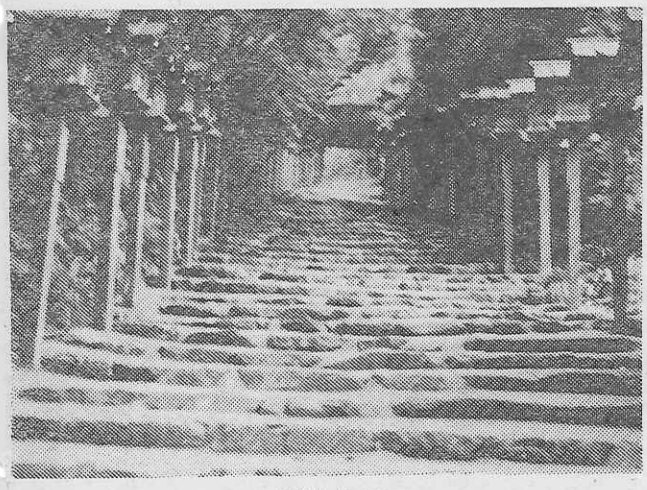
思川渡ればまたも花の雨（虚子）

★交通　京阪三条から京都バスで出町柳下車。（洛北方面のバスならどれでもよい）出町柳から京福電鉄で鞍馬行き三十分。貴船口下車、徒歩約二十分。（つづく）

全修協大阪事務所長・曽田震五＝写真も。

洛北概念図





貴船神社の入口

チロル風のホテルは仲良し8人が一緒です。

集団生活の安全管理と宿泊の生徒さんの自主管理の両面から入念に設計された《スズカビレッジ》

●全館冷暖房完備
●防火優秀ホテルとして消防庁長官賞受賞

2人で1台実物のエンジンを分解・組立てる
250名収容のテクニカルホールの生きた科学教育。
空へ、水へ、緑の中へ…自分でハンドルを握る〝ゆうえんち〟。
国際レーシングコースを走るレーサー気分も……
そして陽の落ちた広場でファイアーストームを囲んで
校歌を歌うひととき――
チロル風ビレッジの一夜、翌朝伊勢湾から昇る朝日も
忘れがたいもの、どれを取っても
学生生活を刻んだキラリと光るひとコマです。

昨年一年間で11万人もの学生さんが
この思い出深い修学旅行を体験しています
「人と科学と自然の接点」
今年の修学旅行こそスズカを加えた
《新近畿ルート》をご検討ください。
スズカから京・奈良・伊勢・志摩へも2時間の距離
未来と過去を結ぶ理想の修学旅行コースです。

陽気なビッグ・レジャーランド
鈴鹿サーキット　三重県鈴鹿市稲生町　電話＝0593〈78〉1111
株式会社ホンダランド
本社：東京都中央区八重洲2-6-20 ☎03〈274〉5821
大阪営業所：大阪市北区芝田町2-1-1 ☎06〈372〉1526